



Embassy  
of the Republic of Poland  
in Tokyo



2022年4月7日

駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター

ニュースリリース

## ポーランド国境におけるウクライナ難民の状況



(c) Polish Border Guard

### 概要

今年2月24日、ロシア軍がウクライナに対する武力侵攻を開始しました。これは、独立した民主国家であるウクライナへの、明白な挑発されていない攻撃です。侵攻が始まって以来、市街地への爆撃および民間人への砲撃により多くの都市において人道的災害が引き起こされ、ロシア兵から逃げようとするウクライナの人々による前例のない規模の国外脱出に至っています。その大半の人々の目指す地がポーランドです。



(c) Polish Border Guard

## 避難民を取り巻く状況

ウクライナを脱出する人々の数は増加の一途を辿り、第2次世界大戦後のヨーロッパで最大規模の避難民を生み出しています。この半数以上の人々（4月6日時点で252万3000人）がポーランドに避難しています。

危機の勃発後、ポーランド政府は速やかにウクライナからの入国手続きを簡素化し、パスポートを所持していない人々も入国できるようにしました。同時にペットに関しても簡素化し、国境でペットと別れずに済むよう手配しました。

国境を越えたウクライナの人々は温かく迎えられ、政府・自治体と社会双方からの手厚い支援に出会っています。戦渦の中、総動員令が出され、全財産はおろかしばしば家族を残してたどり着いた人々を少しでも励ますため、ポーランド人はあらゆる手を尽くして支援しようとしています。

ポーランドがこれほどの数の避難民を受け入れるのは初めてのことで、この間に入国した252万人を超える避難民の姿は辺りに見当たりません。避難民キャンプ等が存在しないのです。これは、危機を前にした自治体の事前準備ももちろんですが、第一にポーランド人が表明した連帯の心の賜物です。ウクライナの人々の大半がポーランドの一般家庭に迎え入れられています。多くのポーランド人が自発的に国境に出向き、避難民を迎え、自宅を避難場所として提供しています。

避難民の方々が目の当たりにする連帯と好感の表れは、そればかりではありません。鉄道をはじめとする公共交通機関が無料で開放されています。支払いを受け取らない飲食店、サービス業の店舗も多くあります。子供たちには幼稚園、学校が調整されています。医療および精神的なケアも無料で提供されています。

ウクライナの人々がポーランドで生活できるよう、政府は至急、労働市場への参入および金銭的手当の支給を可能にするための法案を可決し、抜本的な体制を整えました。ポーランド政府が避難民の受け入れに対し拠出した額は、これまで22億米ドルにのぼります。（ポーランド人がウクライナの人々に対して個人的に行った支援費用は含みません。）



(c) Polish Border Guard

文責：駐日ポーランド共和国大使館

駐日ポーランド共和国大使館

<https://www.gov.pl/web/japonia/ambasada>  
[tokio.amb.sekretariat@msz.gov.pl](mailto:tokio.amb.sekretariat@msz.gov.pl)

Twitter: @PLinTokyo

Facebook: <https://www.facebook.com/Ambasada-RP-w-Tokio>

ポーランド広報文化センター

<https://instytutpolski.pl/tokyo/>  
[tokio@instytutpolski.pl](mailto:tokio@instytutpolski.pl)

Twitter: @PLInst\_Tokyo

Facebook: <https://www.facebook.com/InstytutPolskiTokio/>